

## 悪性度の高い前立腺がんに対する光線力学療法に用いられる Hemagglutinating virus of Japan envelope (HVJ-E)は 特異的且つ効率的な薬剤輸送を可能にする光感受性薬剤である



目で見ると  
海外論文発表

稲井 瑞穂\*

Hemagglutinating virus of Japan envelope (HVJ-E) allows targeted and efficient delivery of photosensitizer for photodynamic therapy against advanced prostate cancer

Key Words : photodynamic therapy, prostate cancer, viral vectors, photosensitizer

<参加会議名> OSA Biomedical Optics & Photonics Congress – Optics in the Life sciences  
<開催場所> カナダ・バンクーバー  
<渡航期間> 2015年4月11日～4月15日  
<発表タイトル> Hemagglutinating virus of Japan envelope (HVJ-E) allows targeted and efficient delivery of photosensitizer for photodynamic therapy against advanced prostate cancer

### Bio-Optics: Design and Application (BODA) に参加して

Bio-Optics: Design and Application (BODA) – Optics in the Life Sciences は1916年に設立された The Optical Society (OSA) が主催する国際会議で、生命科学分野における工学、フォトンクス、画像工学分野の知識交換、収集、普及を目的としています。この度私が参加したセッションでは、光を用いた最新の治療法や診断法など、医用工学を主とした発表が多くなされており、自身の研究に応用可能な研究手法を多く学ぶことが出来ました。私は現在、その腫瘍選択性と低侵襲性から、高齢患者に対するがんの新規治療法として着目されている光線力学療法 (photodynamic therapy; PDT) に関する研究を行っています。セッションに参加し新規ドラッグデリバリーシステムの開発や新規薬剤の動態解析等、最先

端の研究成果について深く知る機会を頂くことが出来ました。また、自身の口頭発表においても、これまで考えてもみなかった視点から多くの質問・コメントを頂くことができ、今後の研究方針を考える上で貴重な経験となりました。今後は学会中に得られた知見を参考にしながら、治療効率の良い PDT 施術を可能にする新規薬剤の臨床応用をめざし、日々の研究に励んで参る所存です。最後に、今回の国際会議での発表の機会を与えて頂いたこと、また海外論文発表奨励賞を受賞させて頂けたことに、この場をお借りして深く感謝を申し上げます。



写真1: ノーベル化学賞受賞者の講演が行われたメイン会場



写真2: 口頭発表を行った会場



写真3: 2015年は光と光技術の国際年



\*Mizuho INAI

1991年1月生  
国際基督教大学 教養学部 アーツ・サイエンス学科 (2014年)  
現在、大阪大学大学院 生命機能研究科 工学研究科 環境・エネルギー工学専攻 量子ビーム応用工学領域 粟津研究室 博士前期課程2年 学士 光生物学  
TEL: 06-6879-4735  
FAX: 06-6879-7363  
E-mail: inai-m@fbs.osaka-u.ac.jp